

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	成人援助論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	岡田 香代子	実務経験と その関連資格	総合病院の消化器外科病棟・外来、医院(有床)で看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》						
慢性的、長期的な経過をたどり、生涯にわたって生活習慣や生活様式の調整・再構築を必要としている人と、その家族の特徴について理解を深め、セルフマネジメントや自己効力感を高めるための援助を、慢性病と共に生活できるような事例を通して看護の実践について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験80％ 出席状況、授業への参加状況・看護過程レポート20％(提出状況は減点対象あり) で評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学Ⅱ 医学書院 系統看護学講座 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 系統看護学講座 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院 看護技術がみえる2 臨床看護技術 メディックメディア 系統看護学講座 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院 その他 各テキスト						
《授業外における学習方法》						
事例展開については、疾患の病態生理・症状・治療・看護を予習をした上で、授業に臨んでください。授業で出来なかった内容は、課題として、次の授業までに実施してください。						
《履修に当たっての留意点》						
前半、事例展開があるので、既習の疾患(病態生理・治療・看護)を理解したうえで、進めていきます。自分自身で学習計画を立て、期限を守って主体的に取り組んでください。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 慢性疾患・長期的な経過をたどる疾病や障害をもつ患者の特徴を説明できる。 2. ゴードンの機能的健康パターンの枠組み、アセスメントの視点が説明できる。		教科書 AV機器 記録用紙配布	看護過程を復習しておく。 事例展開の疾患・症状・治療の復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	1)慢性疾患・長期的な経過をたどる疾病や障害をもつ患者の特徴、慢性疾患の特徴と看護 2)ゴードンの機能的健康パターンの枠組み・アセスメントの視点の復習			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	糖尿病患者の病態生理・症状・合併症・治療を理解し、看護のポイントが説明できる。		各教科書、他	糖尿病の病態生理・検査・治療の復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	糖尿病患者の病態生理・症状・合併症・検査・治療、看護			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	慢性疾患の事例展開：DVDからゴードンの機能的健康パターンに沿って、情報の整理ができる。		教科書 AV機器 看護過程の演習 記録用紙	ゴードンの11の機能的健康パタンを理解しておく。 課題として、所定の用紙に情報の分類を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	糖尿病患者の事例展開 DVDによる情報収集			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例の情報収集からアセスメントの視点がわかり、記述できる。		教科書・看護過程の演習記録用紙、事例に必要な教科書、参考書	アセスメントを所定の用紙に記述しておく。
		各コマにおける授業予定	個人ワーク後、グループ内でアセスメントの視点を共有し、個人ワークを進める			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 糖尿病患者の特徴を説明する。 2. 事例のアセスメントから全体像を描くことができる。		教科書・看護過程の演習記録用紙	全体像の作成を、所定の用紙に記述しておく。その後、提出する(1回目)。
		各コマにおける授業予定	全体像の作成			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 糖尿病患者の問題の原因・誘因と関連性が描け、看護上の問題をあげることができる。 2. 問題の優先順位とその根拠が説明できる。	教科書・看護過程の演習記録用紙	全体像、看護上の問題を所定の用紙に記述しておく。
		各コマにおける授業予定	看護上の問題、優先順位、根拠について、グループワーク		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 糖尿病患者のセルフマネジメント・自己効力感を高める看護計画を立案できる。 2. 退院支援の援助を、グループで協同し立案できる。	教科書・看護過程の演習記録用紙	看護上の問題、看護計画を所定の用紙に記述しておく。
		各コマにおける授業予定	1) グループワーク 2) 看護計画の立案 3) 事例の退院指導のためのパンフレット作成		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	退院支援の援助を、グループで協同し立案できる。	教科書・看護過程の演習記録用紙	情報の分析、全体像、看護上の問題、看護計画を所定の用紙に記述し、ファイルにまとめて提出する準備をしておく。(最終提出)
		各コマにおける授業予定	1) 事例の退院指導のためのパンフレット作成 2) グループ内で退院指導の実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖尿病性腎症の病態生理・治療が理解でき、看護のポイントが説明できる。	各教科書、他	自己血糖測定の実施の事前レポートを課題とする。
		各コマにおける授業予定	慢性の栄養摂取・代謝機能障害をもつ患者の看護;糖尿病性腎症		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 自己血糖測定の目的、手順・根拠及びポイントが説明できる。 2. 血糖の働きや基準値がわかり、安全に自己血糖測定ができる。	教科書、AV機器自己血糖測定器具、アルコール綿他	自己血糖測定の実施の振り返り学習と糖尿病の看護の確認テスト(課題)
		各コマにおける授業予定	事例患者の看護計画の実践 自己血糖測定、演習の振り返り、確認テスト		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝炎・アルコール性肝炎の看護が説明できる。	各教科書、他	肝炎の病態生理・検査・治療の復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	肝炎・アルコール性肝炎の病態生理、治療、確認テスト		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝硬変患者の病態生理・治療が理解でき、看護のポイントが説明できる。	各教科書、他	前回の授業内容の確認テストを実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	肝硬変患者の看護① 確認テスト		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	肝硬変患者の病態生理・治療が理解でき、看護のポイントが説明できる。	各教科書、他	病態生理・検査・治療の学習をしておく。
		各コマにおける授業予定	肝硬変患者の看護②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	バセドウ病、橋本病、甲状腺がんの特徴を理解し、看護が説明できる。	各教科書、他	病態生理・検査・治療、看護の復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	内分泌・代謝機能障害を持つ患者の看護: バセドウ病、橋本病、甲状腺がん		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	甲状腺機能亢進症患者・甲状腺機能低下症患者の特徴を理解し、看護が説明できる。	各教科書、他	甲状腺疾患の病態生理・検査・治療、看護の復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	内分泌・代謝機能障害を持つ患者の看護: 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症		